第１号議案

2023年度 事業報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

一般社団法人CSV開発機構

目次

1．法人概要	P 2
2．年間活動一覧	P 5
3．主要活動	P10
4．会員企業協働事業	P14
5．受託事業	P21
6．自主事業	P22
7．広報業務	P24

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

一般社団法人CSV開発機構の設立の趣旨と目的

一般社団法人CSV開発機構は、CSVをテーマとした「地域の公益と企業益を両立させるCSVサーベイランス研究会」、その産官学連携での発展形である「CSVサーベイランスネットワーク」での活動を踏まえ、CSVによる事業創造・社会課題の解決に向けて本格的な活動を推進するために発足した法人です。

私たちCSV開発機構は、高齢化対応・地域の活性化などの社会課題、気候変動などの環境問題など、さまざまな社会・環境課題を抱える現代社会において、企業がCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）やISO26000の理念を踏まえつつ、本来の事業展開力を活かした新しいビジネスモデルによって、より良い社会、持続可能な未来を創造していこうというCSVを事業化することを目的としています。

新たな価値観に基づく社会の創出や、生活者のQOLの向上を目指し、産官学民の連携による新しいビジネスモデルの構築とその事業化に向け、プラットフォーマーとなり、アライアンスパートナーの構築やオープンイノベーション推進など、総合的なご支援いたします。

役員　（2023年6月1日現在）

理事長	赤池　学			
副理事長	水上　武彦			
専務理事	小寺　徹			
理　事	加藤　薫	（ヤマハ発動機株式会社）	長谷部　直人	（東京書籍株式会社）
	毛利　直俊	（株式会社ジェイティービー）	森田　俊作	（大和リース株式会社）
事務局長	石井　玲子			
監　事	杉本　貴一	（住友林業株式会社）	藤中　隆一	（株式会社乃村工藝社）
顧　問	渋澤　寿一			

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

会員（2023年8月3日現在）

（一般会員）

コドモエナジー株式会社
株式会社ジェイアール東日本企画
住友林業株式会社
大和リース株式会社
株式会社電通
株式会社冨山
農林中央金庫
ヤマハ発動機株式会社
株式会社サーベイリサーチセンター
株式会社ＪＴＢ
株式会社鈴三材木店
株式会社DGコミュニケーションズ
東京書籍株式会社
ニチハ株式会社
株式会社乃村工藝社

（特別会員）

青森県庁
弘前市
静岡市
浜松市
名古屋市（東京事務所）
大阪府（公民戦略連携デスク）
千葉商科大学
大東文化大学経営研究所
特定非営利活動法人キッズデザイン協議会
特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

事業内容

① CSVによる社会課題解決を進めるために必要なビジネスモデル開発を支援する事業
② CSVによる社会課題解決を進めるために必要な政策提言を行う事業
③ CSVに関わる調査研究事業
④ CSVに関わるコンサルティング事業
⑤ CSVに関わる受託事業
⑥ CSVによる解決を必要とする社会課題の収集を行う事業
⑦ CSVによる社会課題解決を進めるために必要なネットワークを構築する事業
⑧ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な普及、啓発、交流を行う事業
⑨ CSVによる社会解題解決を進めるために必要な情報収集・発信を行う事業
⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

2023年

04月	[機構運営]	設立記念日（2日）
	[官民連携]	PPP/PFI事業連携意見交換（6日）
	[官民連携]	木材活用事業意見交換（11日）
	[官民連携]	埼玉県庁官民連携里山活用（14日）
	[機構運営]	自然科学館　視察・意見交換会（17日）
	[機構運営]	自然科学館　スタッフ勉強会（18日）
	[機構運営]	理事会（19日）＊於：大和リース東京本店会議室
05月	[官民連携]	川崎市緑化フェア官民連携（12日）
	[機構運営]	社員総会・理事会（24日）　＊WEB
	[官民連携]	北海道森林活用（25日）
	[官民連携]	東京都海の森倶楽部　視察・意見交換会（26日）
06月	[機構運営]	CSV事業戦略会議（2日）
	[機構運営]	サステナビリティ事業ヒアリング（５日）
	[官民連携]	農水省　ローカルフードプロジェクト意見交換（8日）

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

2．年間活動一覧

[機構運営]　Forest Style森林活用視察（13日）
[官民連携]　豊島区商工政策審議会（14日）
[機構運営]　プラチナシンポジウム（14日）
[官民連携]　北海道森林活用（15日）
[機構運営]　武蔵野美術大学ソーシャルビジネス創出連携（16日）
[機構運営]　CSV事業戦略会議（19日）
[官民連携]　千葉県庁ローカルフードプラットフォーム（21日）
[機構運営]　サステナビリティ事業　地域事業者ヒアリング（23日）
[官民連携]　千葉県庁　ローカルフードプラットフォーム下見・意見交換（29日）
[機構運営]　「サステナビリティ」出版（30日）

07月
[機構運営]　自然科学館　スタッフ勉強会（4日）
[官民連携]　農水省　ローカルフードプロジェクト意見交換（7日）
[官民連携]　林野庁　脱炭素チェレンジ2023審査会（10日）
[官民連携]　千葉県庁　ローカルフードプロジェクト研修会（13日）
[機構運営]　理事会（19日）＊於：ヤマハ発動機東京事務所会議室
[セッション]　生物多様性・ネイチャーポジティブ経営（20日）
[官民連携]　千葉県庁　ローカルフードプロジェクト戦略会議（28日）

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

2．年間活動一覧

8月	[官民連携]	千葉県庁　ローカルフードプロジェクト戦略会議（10日）
	[官民連携]	埼玉県庁　緑の保全・活用WS（29日）
	[機構運営]	もったいない市場　日暮里駅販売会（30日）
9月	[機構運営]	会員企業事業ヒアリング（1日-30日）
	[官民連携]	農水省LFP意見交換会（6日）
	[機構運営]	富山銀行NEXT倶楽部現地視察・意見交換会（13日-14日）
	[機構運営]	新潟鳥屋野潟開発意見交換会（14日-15日）
	[官民連携]	矢祭町長事業説明会（21日）
	[官民連携]	豊島区商工政策審議会（25日）
	[官民連携]	下條村リニア残土地利用（28日）
	[官民連携]	豊島区観光振興プラン策定委員会（28日）
10月	[官民連携]	林野庁脱炭素チャレンジシンポジウム（4日）
	[セッション]	サステナビリティ SDGs以後の最重要生存戦略（20日）
	[官民連携]	下條村リニア残土地利用　現地視察（23日）

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

2．年間活動一覧

11月	[官民連携]	エキュート上野×福島県矢祭町「ラズベリーフェア」（1日-23日）
	[官民連携]	豊島区観光振興プラン策定委員会（9日）
	[官民連携]	豊島区商工政策審議会（10日）
	[官民連携]	矢祭ブランド会議（25日-26日）
	[機構運営]	理事会（27日）＊於：ヤマハ発動機東京事務所会議室
12月	[機構運営]	自然科学館事業説明（4日）
	[官民連携]	千葉県LFP新商品開発会議（4日）
	[官民連携]	農水省LFP意見交換会（15日）
	[官民連携]	川崎市まちづくり意見交換会（18日）
	[官民連携]	未来まちづくりフォーラム（20日）
	[官民連携]	埼玉県庁里山平地林検討部会（21日）
	[官民連携]	千葉県LFP新商品開発会議（22日）
2024年		
01月	[官民連携]	エキュート品川×福島県矢祭町 ストロベリーフェア（4日-21日）
	[官民連携]	矢祭町もったいない市場in品川駅（10日-12日）

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

2．年間活動一覧

	[官民連携]	矢祭ブランド会議（20日-21日）
	[官民連携]	千葉県LFP商談会（26日）
	[官民連携]	下條村未来づくりワークショップ（30日）
02月	[機構運営]	理事会（14日）＊オンライン
	[官民連携]	千葉LFPj意見交換会（15日）
	[官民連携]	下條村未来づくりワークショップ（18日）
	[官民連携]	豊島区観光振興プラン策定委員会（19日）
	[機構運営]	未来まちづくりフォーラム（21日-22日）
	[官民連携]	豊島区商工政策審議会（22日）
03月	[官民連携]	農水省LFP最終報告会（8日）
	[セッション]	食のサステナビリティ　～持続可能な食が生み出す新事業～（13日）＊WEB

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

第1回　全体セッション

日時：2023年7月24日(月)　15:00-17:00

場所：ZOOM　＊オンライン開催

講演1（第1部）
ネイチャーポジティブとビジネスに関する国内外の動向
～ネイチャーポジティブに向けた日本政府の考え・動き、
　そこから生み出される事業機会、企業への期待～

浜島　直子様　(環境省 自然環境局 自然環境計画課生物多様性主流化室 室長）

参加者全員による議論（第2部）
◎パネラー
浜島 直子 様　(環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性主流化室 室長
宮本 育昌 様　(株式会社JINENN 代表取締役社長)
田代 隆一 様　(住友林業緑化株式会社　開発営業部長兼みどり価値創造グループ GM)
◎ファシリテーター
水上 武彦　(当機構　副理事長)

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

３．主要活動状況：全体セッション　＊オープンシンポジウム

オープンシンポジウム　兼第2回全体セッション
日時　　：10月20日（金）15:00～17:30
場所　　：ビジョンセンター浜松町
申込者数：64企業・大学・団体/91名（当機構会員：3企業／一般：61企業）
告知　　：Peatix　/　東京書籍SNS　/　当機構専用サイト・メルマガ　他

2023年度 オープンセッション(シンポジウム)
サステナビリティ SDGs以後の最重要生存戦略
～サステナビリティを儲かるようにする～

日程　：　２０２３年１０月２０日（金）
時間　：　午後２時～午後５時３０分
会場　：　ビジョンセンター浜松町（東京都ビジョンセンター浜松町）

【プログラム】

1　開催挨拶　午後３時００分 ～ 午後３時１０分
挨拶・書籍紹介
CSV開発機構 副理事長 水上 武彦

2　講演① ビデオ講演　午後３時１０分 ～ 午後３時３５分
パーパス経営　～新SDGsの実践に向けて
京都先端科学大学教授 兼 一橋大学ビジネススクール客員教授 名和 高司 様

3　講演②　午後３時３５分 ～ 午後４時０５分
SDGsという事業機会をどう捉えるか
(一社)グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事 有馬 利男 様

（休憩・会場設営）　午後４時０５分 ～ 午後４時１０分

4　パネルディスカッション　午後４時１０分 ～ 午後５時２５分
コラボレーションでCSVをどう実現するか
【パネラー】　株式会社ブリヂストン グローバルサステナビリティ統括部門 統括部門長　稲継 明宏 様
ネスレ日本株式会社 執行役員 コーポレートアフェアーズ 統括部長　喜納 未來 様
株式会社Gaia Vision 共同創業者　出本 哲 様
公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン) 事務局長　東梅 貞義 様
【ファシリテーター】水上 武彦

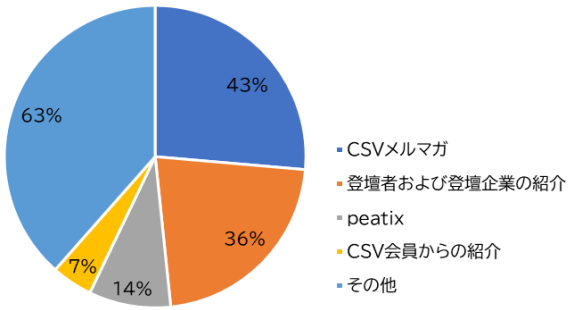
5　閉会　午後５時２５分 ～ 午後５時３０分
挨拶
CSV開発機構 副事長 赤池 学

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

3．主要活動状況：全体セッション　＊オープンシンポジウム

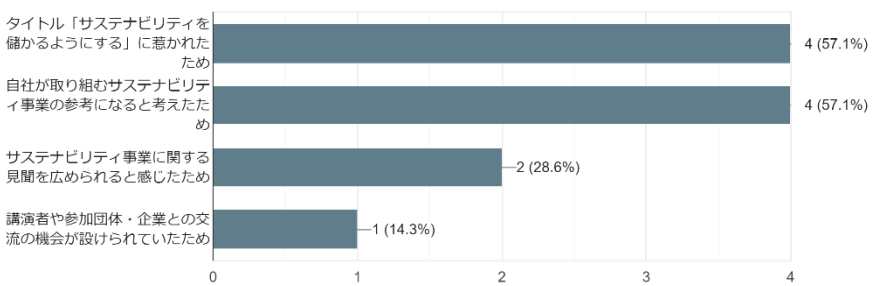
セッション(シンポジウム)報告　参加者アンケート

1. セッションを知った媒体

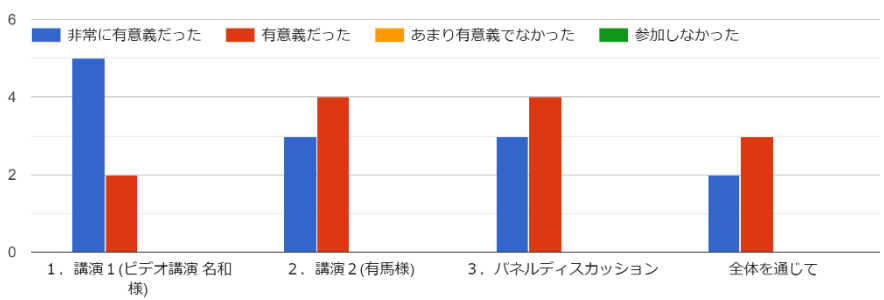


2．本シンポジウムの参加理由をお聞かせください。

7 件の回答

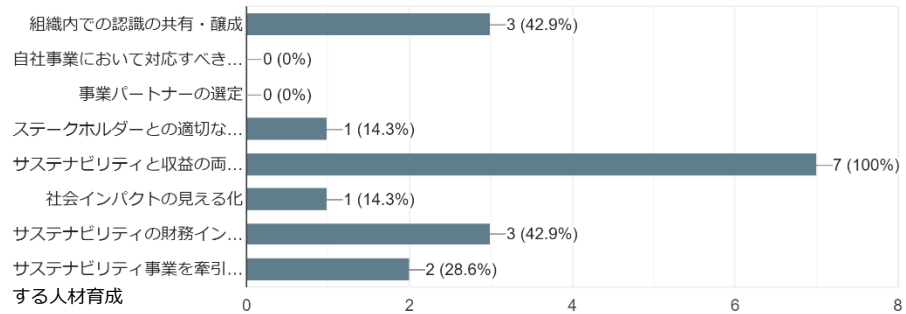


3．以下のプログラムについての感想をお選びください。



4．今後御社が進めるサステナビリティ事業の実現にむけて課題と感じることをお選びください。

7 件の回答



5．設問4の回答を解決するために現在検討していることがありましたらご記入ください。

1 件の回答

サステナ事業創出のBizDevコンサルチームの立ち上げ

6．今後、シンポジウムやセッションで扱ってほしい社会課題や事業テーマがありましたら、ご自由にお書きください。

1 件の回答

経営層の説得方法、非財務価値の定量化の事例

「サステナビリティと収益の両立(CSVの実現)」に対する回答が最も多かった。
続いて、「組織内での認識の共有･醸成」「サステナビリティの財務インパクトの見える化」に対して課題と感じている層が多いことが明らかとなった。

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

第3回　全体セッション　「食のサステナビリティ ～持続可能な食が生み出す新事業～」

日時：2024年3月13日(水)　15:00-17:00

場所：ZOOM　＊オンライン開催

講演1（第1部）
「食品産業をめぐる情勢及び持続可能な食料システムの実現について」

農林水産省　新事業・食品産業部企画グループ　グループ長
木村　崇之 様

講演2（第2部）
地域からみる農業の課題と未来に向けたCSVの可能性

株式会社冨山　代表取締役会長
冨山 道郎 様

ICT企業の強みを生かした水産業の課題解決

NTTコミュニケーションズ株式会社　ソリューション＆マーケティング本部
ソリューションコンサルティング部 地域協創推進部門　第二グループ　担当部長
山本 圭一 様

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

福島県矢祭町：矢祭町地域魅力向上・発信事業　＊復興庁福島再生加速化交付金

期間：2023年7月～2024年3月

協働企業：JR東日本企画様（JR東日本グループ各社）
Discover Japan誌

目的：
福島の風評被害の払拭と矢祭町の魅力を都内に発信することを目的として、首都圏を中心に町の知名度を高めるようなPR事業をJRや雑誌社等と連携して実施する。

事業概要：
①矢祭町農産品販売を通した矢祭町PR事業
・矢祭町ラズベリーフェア　：エキュート上野
・矢祭町いちごフェア　：エキュート品川
・もったいない市場in品川駅　：JR品川駅構内特設会場
・山手線等列車内/駅構内PR動画　：山手線・横須賀線・総武快速線・品川駅自由通路
・矢祭町認知度調査　：JR品川駅構内
②矢祭ブランド会議　：Discover Japan誌

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

４．会員企業協働事業：福島県矢祭町

①矢祭町農産品販売を通した矢祭町PR事業

・矢祭町ラズベリーフェア：エキュート上野
期間：11月1日(水)～11月23日(水)
内容：エキュート上野内店舗(4店)で、矢祭町産ラズベリーを使用した
メニューフェアを実施
期間中1500円以上購入の方に抽選で
矢祭町産「樹苺エール」を30名にプレゼント

エキュート上野HP トップ画面バナー

エキュート上野
ラズベリーフェア
キービジュアル

・矢祭町いちごフェア：エキュート品川
期間：1月4日(木)～1月21日(日)
内容：エキュート品川内店舗(12店)で、矢祭町産いちごを
使用したメニューフェアを実施

パティスリーQBG
での販売風景

メルヘンでの販売風景

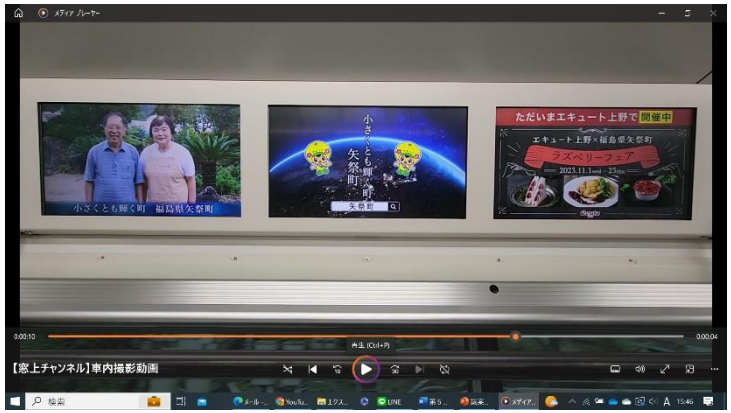
エキュート品川
ストロベリーフェア
キービジュアル

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

４．会員企業協働事業：福島県矢祭町

・もったいない市場in品川駅：
期間：1月10日(水)～1月12日(金)
内容：矢祭農産品の直売会

・矢祭町PR動画放映
1)山手線・横須賀線・総武快速線
期間：11月6日(月)～11月12日(日)
内容：福島県農産品の安全安心の訴求・矢祭町農生産者の想いを伝える



Copyright　Japan CSV Business Development Organization

2)品川駅自由通路ビジョン
期間：1月8日(月)～1月14日(土)
内容：福島県農産品の安全安心の訴求、矢祭町農生産者の想いを伝える

自由通路での動画放映

自由通路での動画放映

佐川町長のエキュート品川
ならびに販売会視察

・矢祭町認知度調査
期間：1月10日(水)～1月12日(金)
内容：福島県に対する風評被害調査、矢祭町の認知度、ファン獲得に向けた意識を調査

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

4．会員企業協働事業：福島県矢祭町

②矢祭ブランド会議による人財育成事業
・町民ワークショップ　11月26日(日)・1月21日(日)
・魅力発信を出来る人財の育成
・Discover Japan誌での情報発信

INFORMATION

福島・矢祭町の魅力、知っていますか？
住民参加型《矢祭ブランド会議》がスタート！

2023.12.22 PR

#地域ブランディング

東北地方最南端に位置する福島・矢祭町（やまつりまち）。復興庁では同県ならではの魅力を発信する環境整備を支援しており、矢祭町はこの取り組みに手を挙げた。Discover Japan

AREA

- 青森
- 秋田
- 岩手
- 山形
- 宮城
- 福島

HASHTAG

#名レストランは旅の目的地
#美術館・ミュージアムガイド
#ザ・ベスト・オブ・ホテル
#お取り寄せ
#一度は訪れたい名建築
#日本神話・古事記
#日本酒　#やっぱり温泉
#リゾート　#神社仏閣
#伝統工芸
#すごいぜ発酵！　#歴史
#アート・古民家

矢祭町の料理名人、本田治子さん。来客の際はお茶請けとして、手づくりの漬物やお総菜でもてなすという

東館駅から、まず向かったのは久慈川。ここで川の環境整備を行う久慈川第一漁業協同組合・須藤力さんによるアユ漁やアユの放流などの話をうかがった。久慈川流域には先人の知恵によって植えられた竹やぶがあり、聞くとこれは水害を防ぐ役割があるという。何気ない景色ひとつとっても、矢祭町の歴史と文化が息づいているのが興味深い。続く奥久慈県立自然公園 矢祭山では「矢祭町」命名の由来に通じる伝説が残る矢祭神社、久慈川沿いにある親水広場、弘法大師空海が護摩を焚いたとされる「夢想滝」を散策し、町の歴史と情景に触れた。

その後、矢祭町の料理名人・本田治子さんのもとへ。本田さんは本業の傍ら、自家農園で多種多様な農作物を育て、日々の料理のほか、漬物、果実酒、乾物などの保存食もつくるなど、食材を余すところなく使う豊かな暮らしを体現している。

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

新潟県立自然科学館

期間：2023年4月～2024年3月

協働企業：JR東日本企画様

事業概要：
JR東日本企画新潟支社の地域共生施策に協力する形で、新潟市中央区の商業施設において体験型のサイエンス・ワークショップを実施。

４月：風力エネルギーについて学びながら春らしいサクラの花の風車を作って、
風のパワーを感じてみよう！

８月：鳥のようにはばたいて飛ぶ飛行機「オーニソプター」を作って、飛行の
仕組みを考えながら飛ばしてみよう！

９月：なぜ色が変わる？　温度の変化に反応する不思議なキーホルダーを作ろう！

３月：水と油の性質を利用したキラキラカラーボトルを作ろう！（予定）

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

【埼玉県「官民連携・共創による緑の保全・活用」企画提案等業務委託】

期間：2023年7月～10月

目的：
埼玉県内の里山や平地林などの緑や自然について、行政からの補助金等に頼らず企業や県民等が主体となった保全・活用の取組の実施を目指し（中長期スパン）、持続的な保全・活用につながる具体的な取組を、総合的に推進するための企画立案を行う。

事業概要：
・官民連携による緑の保全活用を行うための新たな組織体の仕組みや体制の検討・構築に向けて、以下の取り組みを実施した。
① 埼玉県内の里山や平地林などの自然環境の保全・活用に関わる主体を対象としたアンケート調査
対象　１）『里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会』メンバー
２） 埼玉県内の市町村のうち緑地および森林の管理活用の関連部署の職員
３） 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム メンバー
② 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム『里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会』メンバーを対象としたワークショップ

・各年度で取組むプロジェクト検討・ロードマップ(Ｒ６～８年)

※本業務の報告を受け埼玉県は令和６年度に官民連携・共創による緑の保全・活用を支援する新団体の立上げ準備、プロジェクト立案運営支援にかかる業務委託を公募。

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

5．受託事業：長野県下條村

【令和5年度下條村リニア発生土置き場利用計画サウンディング事業業務委託】

期間：2023年12月～2024年3月

目的：
下條村リニア残土埋立予定地の暫定利用について、事業の担い手となる多様な主体の村民および関係者による議論の場を設け、村民の本取組への基本コンセプトや事業理念を共有するとともに、今後の主体的な参加を促す。そして、基本コンセプトを実現する取組や、骨子となる村民の意見の集約を図る。

事業概要：
・村民の意見集約を図るための村民ワークショップ企画運営
・下條村リニア残土埋立予定地の暫定利用における基本コンセプトの実現に資する取組の検討および提案

2日間のワークショップを開催、村民が残したい、あるいは未来の村に求めるコンテンツや要素が明らかになった。

『下條村未来づくりワークショップ』
～リニア発生土置き場の未来の姿を描く～
参加者募集！

下條村ではリニア発生土置き場約10haの新たな活用に向けて、平成30年に下條村リニア残土処理地計画特別委員会を発足、発生土置き場の後利用のあり方を検討し、「残土処理地の利活用に関する考え」をまとめました。この考えをベースに、下條村の村民のすべての皆さんにとって、『日々の暮らしを少よりも楽しく、便利に、より豊かにする空間』としてかたちにしたい、そして、村外の方にとっては南信州地域の交流拠点として、下條村と南信州の魅力を満喫できる場にしたいと考えています。

そのためにも、今後の企画計画づくりには、実際に下條村に暮らし、働き、学ぶ、多くの皆さんの声を具体的な取組に活かしたいと考え、村民の皆さんを中心としたグループディスカッションの場を設けることといたしました。
なるべく多様にわたる年代、分野、職業の村民の皆さんに参加いただき、対話し、つながり、一緒に下條村の魅力を再発見するとともに、リニア発生土置き場が『未来の下條村』でどのような空間であったら、より皆に親しみ、喜ばれるかを話し合いたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

専門的な知識は全く必要ありません！！
下條村が好きな人、
地域のために何かしたい人、
まちづくりに興味がある人、
どんな方でも大歓迎です。

みなさんの参加をお待ちしています！

日時　①1月30日(火) 19:00~21:00 または ②2月18日(日) 9:00 ～12:00
※①②ともどちらかいずれかにご参加ください。(両日とも、同じ進行・内容となります。)
参加資格：下條村村民または下條村のまちづくりに興味がある方
※学生の方や、お子様連れも大歓迎です！
※小学生3年生以下の方が参加される場合、保護者同伴の上ご参加下さいますようお願いいたします。
参加費　：無料
会場　：お試しオフィス下條
主な内容：村民の皆さんを中心としたワークショップ形式のディスカッション
・数名1グループに分かれて、テーマに沿って話し合いを行います。
・協議内容は今後のリニア発生土置き場のゾーニング(建物や空間の機能や配置づけ)や施設計画などに活かす予定です。

<お申込み方法>
右記のニ次元コードまたは、下記電話・メールより1月19日(金)17時までにお申しふみください。
※申しふみ時に、参加希望日時をお選びください(2回連続参加はできません)
(主催・お問合せ)　下條村(担当：池戸・佐々木)
TEL:0260-27-2311 / E-mail:sjlinear@vill-shimojo.jp
(運営)　一社)CSV開発機構

Copyright　Japan CSV Business Development Organization

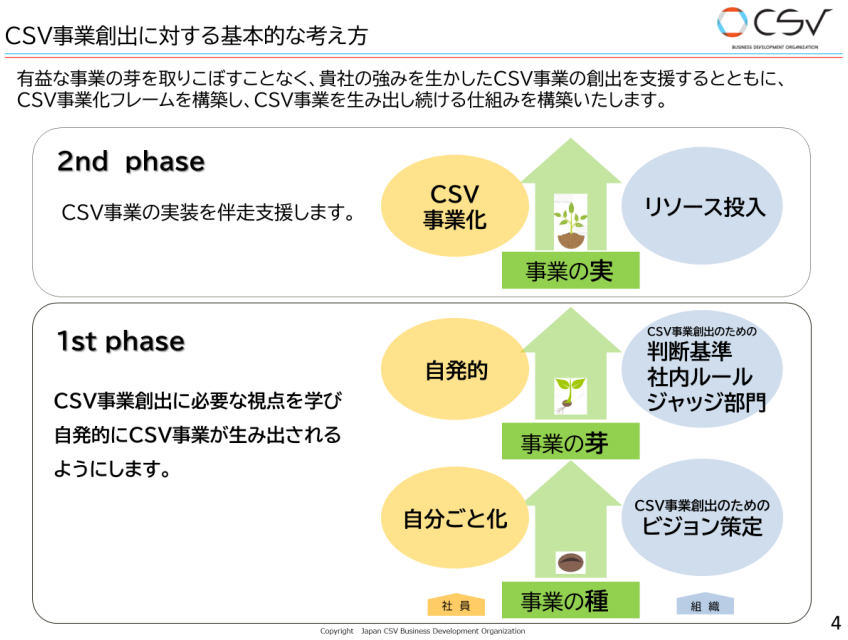
6．自主事業：CSV実装トレーニング

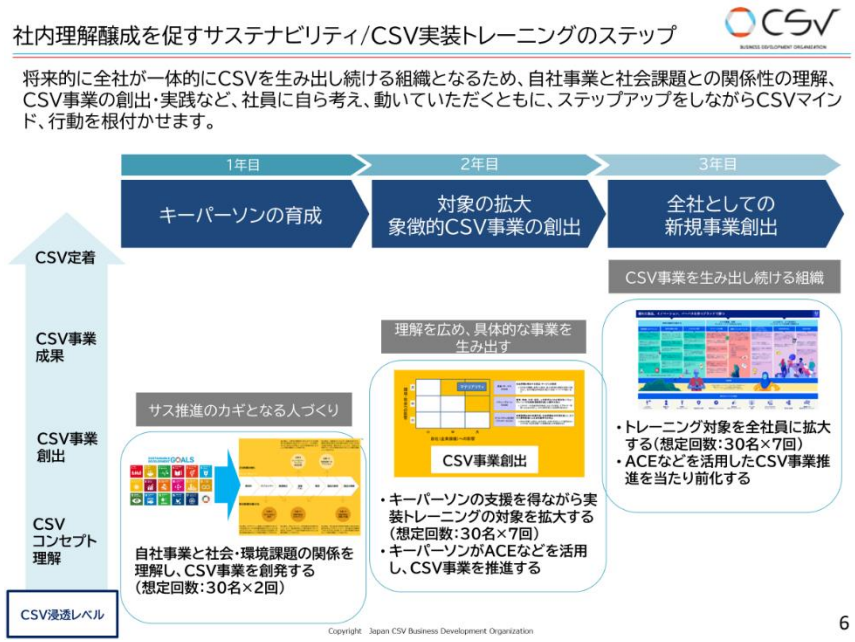
事業名：CSV実装トレーニング

期間：2023年8月～2024年2月
※今年度は１企業（企業名非開示）にて研修の一環として試行的に実施を行った。

目的：
・有益な事業の芽を取りこぼすことなく、自社の強みを生かしたCSV事業の創出を支援。
・CSV事業化フレームに基づき、CSV事業を生み出し続ける仕組みを構築。
・将来的に全社が一体的にCSVを生み出し続ける組織となるため、自社事業と社会課題との関係性の理解、CSV事業の創出・実践など、社員に自ら考え、動いていただくともに、ステップアップをしながらCSVマインド、行動を根付かせる。

＊下記企画書は汎用性を抜粋





【Popup School】

小学生向けイベント　9月開催

東蒲原郡阿賀町の山中より粘土鉱物のベントナイトを採掘し、製品加工を行っている関ベン鉱業（株）に協力いただき様々な産業分野で利用されているベントナイトの採掘現場や工場の見学と温泉水を活用したクレイパックづくりを体験して地域の資源と産業について学ぶイベントを９月に実施しました。

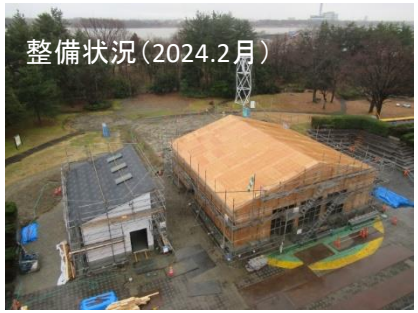
【屋外展示場改修】

令和５年度のデジ田交付金を用いて屋外展示場の一部に次世代循環型農業体験施設を整備中。

（完成は令和６年３月末）

この施設を活用し、子どもたちが体験を通じてスマート農業や関連する科学技術への興味関心の向上に向けた活動の充実を図るための学習プログラムの提供についての協力を会員企業に相談（９月）し、オンラインMTGを開催（１２月）した。

各企業の意向や提供が可能な学習プログラムについて協議予定。



Copyright　Japan CSV Business Development Organization

新規事業開始に伴う広報戦略について

１．メールマガジンの配信：3155件配信

①まちづくり号：毎月10日配信

CSV開発機構の事業の趣旨や目的を伝えるため事業経過を中心に配信

・事業実績（矢祭町・下條村等）

・脱炭素時代の新しいまちづくり

・産官学連携のまちづくり

・セッション報告

②SDGs / サステナビリティ経営号：毎月25日配信

CSV開発機構の自主事業である「CSV事業構築」の営業ツールとして配信

・水上副理事長「サステナビリティ経営論」ブログを中心とした事例

・「CSV経営の実践」に求められるSDGs / サステナビリティ事業の啓発

Copyright　Japan CSV Business Development Organization